

あがたの森林



第三地区

イオンモール松本でアニメ発表会

平成30年度に第三地区まちづくり協議会が作成した「お蚕さまから生まれた街」が、松本工業高校の生徒によってアニメーションになりました。

現在のイオンモール松本の場所は、かつて日本一の規模であった片倉松本製糸所のあった場所。ここから松本の近代産業が発展していったことから、第三地区まちづくり協議会とイオンモール(株)は、長年に渡り協力してこの歴史を後世に伝える活動をしてきました。その活動の一環として、第三地区ゆかりの人物・今井五介についてまとめた歴史冊子が「お蚕さまから生まれた街」です。



アニメーションの一場面

この冊子は、誰でも読みやすいように漫画で描かれています。小学校低学年の子どもたちにも内容が理解できるようにアニメーション化したいと以前から



イオンモール(株)との試写会の様子

考えていました。そうした中、以前から提案していた松本工業高校の生徒たちから「アニメをつくってみたい」と声があがったことをきっかけにアニメーション制作が始まりました。

制作にあたって、原作のヤポンスキーこぼやし画伯やイオンモールを交えた試写会を行った。フリーアナウンサーの上條美沙子さんからナレーションのアドバイスをいただいたりしました。コロナ禍で思うように進まなかった時もありましたが、11月にアニメーションが完成しました。

完成を記念して、1月8日(土)にイオンモール松本の片倉松本製糸所の事務所棟がデザインされた「きらめきコート」において制作発表会をしました。

当日は、松本工業高校の生徒をはじめ、ヤポンスキーこぼやし画伯や、冊子を監修した松本市文書館の小松芳郎氏、制作に協力した第三地区まちづくり協議会の熊谷会長、降旗副会長がアニメーションの制作過程をパネルディスカッションでお伝えした後、初上映となりました。



パネルディスカッションの様子

来場された皆さんからは「地域の偉人の物語を学び、分かりやすく伝えよう」と取り組んだ皆さんの努力に驚かされました。「小松先生の地元の歴史から、ヤポンスキーさん、第三地区の皆さん、そして松工の若い皆さんにバトンが渡されたことが実に結び感激いたしました。」等の感想が聞かれました。

今後このアニメは、松本市の公式YouTubeで発信するほか、市内の小・中学校のタブレット学習で利用してもらえらるよう働きかけていきます。



完成披露会の様子

◆制作した松工生のコメント◆
制作側としても、とても自信のある作品になっているので、今後はこのアニメーションをどんどん広めていく活動をしていきたい。(塚原時和)

◆これを機に、色んな人に今井五介という人物のこと・松本のことについて興味をもってほしい。(藤牧希実)



12/24 (金)

あがた児童センターつどいの広場



12/15 (水)

ふれあい健康教室



12/1 (水)

おひさまキッズ

第三地区のクリスマス

今年も第三地区にサンタがやってきました。

三九郎 今年はできました!

1月8日(土)にほとんどの町会で「三九郎」が実施されました。

県町北町会では、お年寄りの町会役員も子どもの頃を思い出しながら、お孫さんたちと楽しいひと時を過ごしました。

普段、交流機会の少ない町会の親御さんや、子どもさんたちと親しくなれ、元気をい

薩玉づくりで楽しもう

12月11日(土)に第三地区

まちづくり協議会主催の薩玉づくり講習会が開催されました。今年で3年目となるこの講習会は「毎年三九郎をやるらないといけないけれど、意味とか薩玉の作り方がわからない」と言うPTAのお母さんの声を活かそうと企画したものです。今年も昨年より多い、9組の家族の申し込みがあり、ボランティアで参加した松本大学の学生も一緒に楽しく薩玉づくりをしました。

昨年はコロナで中止が多かった三九郎ですが、今年も11町会で開催されました。1年ごとにPTA役員が代わる



ただき有意義な一日でした。これからも、無病息災を願う、子どもたち相互の親睦が図れる伝統行事を継承していきたいものです。



ため、やり方がわからないなど、町会役員が協力して開催した町会もあつたようです。これからは、地域が行事の歴史ややり方などを学習する講習会を企画するなど、子供会と一緒に伝承する努力をしていくことが必要だと感じます。

源池小学校 松本手まりづくり

12月23日(木)源池小学校6年生40名が松本手まりづくりを体験しました。

松本の伝統文化を学ぶ目的から、当初10月の修学旅行で体験する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により延期となりました。

当日は市内各地で松本手まりづくりの講師をしている鈴木智恵子先生と森下幸子先生、そして第三地区のボランティア6名に制作の指導をしていただきました。鈴木先生が用意した地まりに自分の好きな色の糸を通し、一人ひとりオリジナルの松本手まりを作りました。



児童たちの感想

◎手まりづくりをやってみて「作っている人ってすごいなあ」と思いました。難しかったけど、楽しく作れたし、いい経験ができてよかったです。(市川凜音)

◎この松本手まりを作ってみて、指に針がかすったり、少しクツとささったりしてしまいました。手まりを作るのは大変だなと思いました。(森勢千華)

◎まちがえたところもたくさんあって大変だったけど、伝統の手まりづくりを体験できてよかったです。(長田羽流)



湧き水

私のいくつかの趣味の中で秋は流木や枯木、木の笠を使ったクラフトが大のお気に入り。

近くの里山や薄川河川敷で宝物を手にし、この枝の曲がりは何の形に近いかな?と頭の中をアイデアが飛び交う。また、私の町会に面して「あがたの森」があり、公園内には材料となる魅力的な木の実や笠が一杯。ツル細工用にはアオツツラフジ、リース等にはクヌギ・シラカシ・トチの実、ゴヨウ松の笠、ヒマラヤスギの笠などを拾うことができる。シーダーローズとして人気の高いヒマラヤスギは11月のピーク時、市内各地からこれを目当てに早朝来園する人も多い。

私は公園に近いことから拾うチャンスは多く、かなりの量がゲットできる。「何で?何のため?」との問いかけがあるが答えは簡単。第三地区の秋の恒例行事である「作品展」に出品のため。今年は何を作ろうか、と嬉しい悩み。コロナ禍で多くのイベントが中止となる中、我が第三地区は休むことなく発表の場が継続されていることに感謝の気持ちで一杯である。

(上條 恒嗣)